

タヌキモ科

タヌキモ

Utricularia x japonica Makino

兵庫県ランク… A

環境省ランク… NT

■ 県内分布

西播磨

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

西播磨の1ヶ所にのみ残っている。

■ 保護上の留意点

生育地である河川・ため池環境の保全が重要である。



写真提供:松岡成久

■ 種の概要

古い池に浮遊する多年草。水中葉は長さ3-5cmになり、細かく分裂して捕中囊をつける。裂片は一平面に配列し、水から出してもしぼまない。7-9月に高さ10-25cmの花軸を出して4-7個の花をつける。花は黄色で径1.5cm程度、萼は長さ3-4mm、距は斜め下を向き下唇よりやや短く、花柄は花後に垂下するが、果実ができない。秋になると植物体の先端に、小さくなった水中葉が密に集まって、丸くなり、緑色で球状の越冬芽をつくり、それを残して他の部分は腐る。